

2025年度災害救助法等改正記念

Zoom

# 災害に強い ソーシャルワーカー 養成研修 2025

8月10日 日 13:00-16:30

(受付開始：12:40)

ソーシャルワーカー自身の防災意識の向上は、支援対象の福祉サービス利用者や地域住民の災害対応に変化をもたらす力を持っていると思います。災害による被害を最小限に抑え、発災後の生活課題を予測して適切に対応するために、災害対応に関する新しい情報を確保し、『災害に強いソーシャルワーカー』になって地域に貢献することを目指します。

対象

・災害福祉に関心のある方（ソーシャルワーカーに限定しません）

program

テーマ：当事者抜きで災害対応を語らないで！

- 1 取組紹介「障害当事者災害対応リアル」  
眼の会 代表 榊原道真氏
- 2 取組紹介  
「石川県珠洲市まちづくり協議会『正院未来会議』のリアル」  
近畿災害対策まちづくり支援機構代表理事 野崎隆一氏
- 3 質疑応答・意見交換  
※質疑応答・意見交換では、「氏名を表記し、できるだけビデオonの顔出し」でご参加ください。

1 受講料

(全国)社会福祉士会会員 2,200円 一般 4,400円  
兵庫県社会福祉士会賛助会員

2 申込方法

申込締切：

7月27日 日

兵庫県社会福祉士会ホームページまたは、下記URLか右記QRコードから、研修管理システム「manaable」にアクセスし、お申し込みください。受付は先着順です。

<https://hacsw.manaable.com/signup>

※申込みが一定数に満たない場合は、研修開催を中止することがあります。



お問合せ 電話：078-265-1330 メール：entry@hacsw.or.jp

主催：一般社団法人 兵庫県社会福祉士会 災害福祉支援委員会

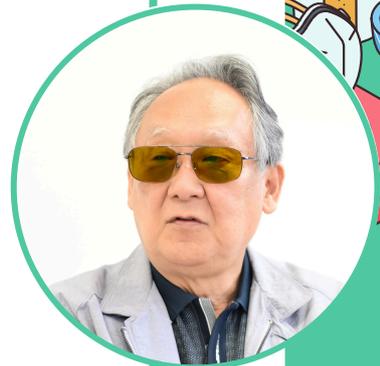
後援：近畿災害対策まちづくり支援機構

## speaker-1

### 榊原道真氏 : 眼の会 代表

進行性の難病「網膜色素変性症」によって視力を失う。

「もし今、阪神・淡路大震災クラス地震が起きたら、どう行動すればいいのだろう。私と同じように考えている仲間もいるはずだ」と感じ、震災10年の2005年から防災に関する取り組みを開始。視覚障害者や支援者でつくる団体「眼の会」の活動の柱は、視覚障害者のQOL（生活の質）の向上につながる福祉機器の提供や医療・福祉制度の勉強会。防災のシンポジウム等を「避難行動要支援者」と呼ばれる全ての人々や支援者を対象に開催している。神戸市西区で鍼灸マッサージの治療室を経営。防災士。



## speaker-2

### 野崎隆一氏 : 近畿災害対策まちづくり支援機構 代表理事

阪神・淡路大震災の翌年、復興過程で出会ったまちづくりの専門家やボランティアリーダーたちと復興のあり方を学び合う場として「神戸復興塾」を、その3年後には「NPO法人 神戸まちづくり研究所」を設立。復興プロセスの検証に取り組みながら、各被災地のまちづくり支援を中心に、被災地視察や震災学習を採り入れた修学旅行の受け入れ、地域再生といったまちづくり活動を展開。平成29年には、それらの精力的な活動に対し黄綬褒章を受章。株式会社遊空間工房の代表取締役としても活動中。



### プログラム詳細

8月10日 日

13:00-16:30

(受付開始: 12:40)

13:00~	開会あいさつ・オリエンテーション
13:10~14:00	1. 取組紹介 (50分) 「障害当事者災害対応リアル」 眼の会代表 榊原道真氏
14:00~15:10	2. 取組紹介 (70分) 「石川県珠洲市まちづくり協議会『正院未来会議』のリアル」 近畿災害対策まちづくり支援機構代表理事 野崎隆一氏
15:10~15:25	休憩 (15分)
15:25~16:20	3. 質疑応答・意見交換 (55分)
16:20~16:30	まとめ・事務連絡

お問合せ 電話: 078-265-1330 メール: [entry@hacsw.or.jp](mailto:entry@hacsw.or.jp)

主催: 一般社団法人 兵庫県社会福祉士会 災害福祉支援委員会

後援: 近畿災害対策まちづくり支援機構